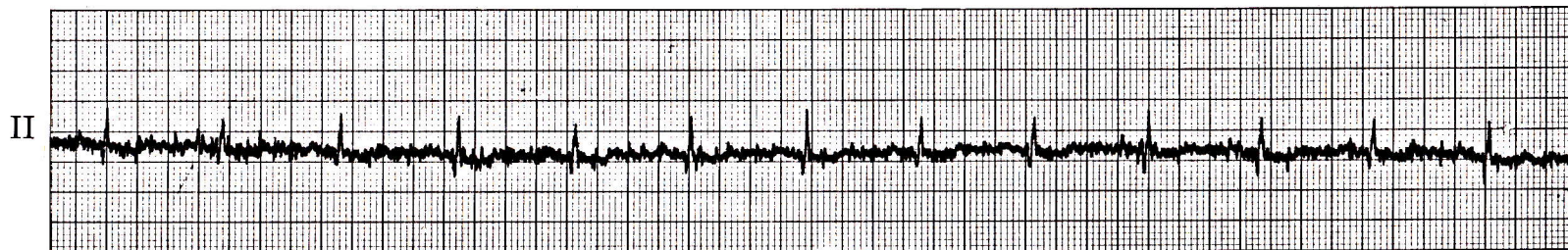


症例 32

●67歳 男

高血圧で加療中、経過観察のための心電図。



1) 基線が細かく、不規則にゆれているがこれは何か。

心電図診断

正常洞調律(筋電図の混入)

基線が細かくゆれているが、心房細動波に比べればフレが速く鋭い。
QRS波は規則正しい間隔で出現している(心房細動では不規則)。

解 説

この症例は右上肢のtremorを伴っているため、筋電図が混入したものである。
筋電図は手足に少し力を入れるだけで認められ、また寒くてふるえているときにも混入する。